

生涯学習の窓

教育・文化・スポーツの
ホットな情報をお届けします。

■家庭教育講座のご案内

占冠村公民館では、家庭教育講座を開催しています。お子さんがいらっしゃるご家庭はもちろん、そうでない方にも参考となる講座で、どなたでも参加できます。

お話の後には意見交換の場があり、様々な悩みを参加者同士で語り合ってみませんか？
事前のご連絡は不要ですので、ぜひ足を運んでみてください。

6月家庭教育講座

場所：占冠村公民館（コミュニティプラザ）和室
日時：平成27年6月16日（火）午前10時から12時まで
内容：子供が挫折する親のタイプ
講師：道北家庭教育研究グループ クリーミーママの会

<7月以降の講座内容>

7月21日（火）「家庭における母親の役割」
8月18日（火）「親はわが子の教育に虚栄心をすてよ」
9月11日（金）「努力する子供を育てる親の心得」
10月16日（金）「現代に期待される子供の育て方」
※場所・時間は、すべて上記と同じです。



お問い合わせ：占冠村公民館事務局 TEL：0167-56-2183

■村営プールオープン

6月20日（土）に村営（中央・トママ）プールのオープンを予定しています。

水泳は、マラソンなどのハードなものより体に負担をかけずに体を動かすことができるので、とても良い運動になります。

暑い日は家でゴロゴロするのではなく、冷たくて気持ちのいいプールへお越しください。



■ご協力ありがとうございました

野外体育施設のオープンにあたり、テニスコートやパークゴルフ場の整備など利用者が気持ちよく利用できるよう、住民ボランティアの方々にお手伝いいただきました。

皆様方のご厚意にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。



エゾシカ

4月以降、多くのシカが牧草地に出てきました。6月には出産期に入り、群れが分散して捕獲しづらくなります。そのため4・5月は、被害抑制のための重要な時期と考え、駆除隊の皆さんには特に捕獲努力をお願いしてきました。その甲斐あって4月は47頭、5月は12日までに20頭を捕獲することができました。今後は、通常の草地巡回に加えて、チームでの林内捕獲や、わな、待ち伏せなど新たな手段を講じ、農業被害の抑制に努めていきます。シカ駆除隊の今年度の先発メンバーは次のとおりです。

高橋勝美さん (占 冠)	小尾雅彦さん (中 央)
尾形和男さん (上トナム)	安田吉吉さん (中 央)
鈴木雅士さん (中 央)	本田光司さん (上トナム)
高橋篤哉さん (占 冠)	黒井宏論さん (二ニウ)
高橋武志さん (双珠別)	遠藤 守さん (苦小牧)
玉田貴光さん (札 幌)	表 賢樹さん (札 幌)

このほか役場林業振興室の中島と浦田も朝夕は駆除に参加しており、総勢15名の陣容です。皆さんは本業の傍らの活動であり、牧草地だけでも手が回りきらない状況ですが、安全を第一に、各々の土地勘や猟法、技術を活かして努力をいただいています。

なお、駆除隊の車両には橙色の表示を付けていますので、よろしく願いいたします。



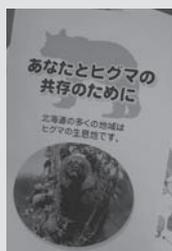
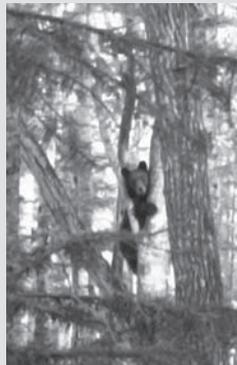
■お問い合わせ

林業振興室 地域おこし協力隊
電話 56-2174

ヒグマ

この季節、フキがヒグマの主要な餌となります。フキを採りに行くと、一番おいしそうなものから、先にヒグマに食べられてしまっていることがしばしばです。

シカもフキを食べますが、シカの食べた跡は、刃物で切ったように切れているのに対し、ヒグマはフキのスジをかみ切れず、葉までスジがつながって残ることが多いようです。こうした食べ跡や糞は、近くにヒグマがいる黄信号です。十分に注意して行動しましょう。



フキ以外では、ほかの草や蟻、蜂、昨秋のクルミなどを食べているようです。ヒグマに対する一般的な対処をまとめたパンフレット(北海道作成)がありますので、ご希望の方は役場林業振興室にお問い合わせください。

アライグマ

今年度になってからは、二ニウで目撃情報がありました。先月号でお知らせしましたとおり、5月下旬から春期捕獲を実施しています。引き続き情報収集にご協力をお願いいたします。

こちら駐在所



です

■居眠り運転事故防止

〜居眠りは死への直行便〜

居眠り運転事故防止ポイント

- 眠気を感じたらすぐに最寄りの道の駅、駐車帯などで休憩する
- 2時間に1回は眠気を感じなくても休憩する
- 交通量の少ない直線道路を走行する時は、注意力が低下し、居眠り運転に陥りやすいので注意しましょう
- 同乗者の方はドライバーが疲れているようなら休憩を勧めましょう

■夏山の遭難防止

〜山登り 体力・技量を考えて〜

遭難防止ポイント

- 十分な装備とゆとりのある計画を立て、自分の体力や技量に合わせた登山を心がけましょう
- 登山計画書を警察署や駐在所に提出しましょう
- 経験のあるリーダーのもと、単独での登山は控え、複数での登山に努めましょう
- ヒグマとの遭遇を避けるため、鈴などの音の出るものを携行しましょう
- 携帯電話などの通信手段を携行しましょう

占冠駐在所
56-2110